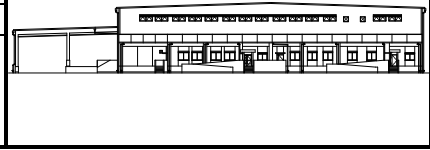


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相模米軍倉庫(409)新設工事 倉庫(北側)	階数	地上1F
建設地	神奈川県相模原市中央区上矢部390番2外	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	182 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2020年4月20日
敷地面積	24,702 m ²	作成者	マン・テック株式会社
建築面積	10,941 m ²	確認日	2020年4月20日
延床面積	10,937 m ²	確認者	マン・テック株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	建物の省エネルギー性能の向上に配慮している。	
その他	0	
Q1 室内環境	開口部遮音、昼光制御、空気室環境に配慮している。	Q2 サービス性能
		階高のゆとり、空間の形状に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	防犯性に配慮している。	
LR1 エネルギー	設備システムの効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル
		汚染物質含有材料の使用回避について配慮している。
LR3 敷地外環境	地球温暖化防止に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される